

「自動車工学」	教科	工業	単位数	2単位
	学科、学年、組	機械科、3学年、1組		
使用教科書	「自動車工学1・2」(実教出版株式会社)			
副教材等	自作プリント			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、安全で安心な自動車の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)自動車について構造と機能を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2)自動車に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し、解決する力を養う。</p> <p>(3)自動車の付加価値を高める力の向上を目指して自ら学び、自動車産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれA B Cで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技術	自動車に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における自動車の意義や役割を理解している。	35%	考查 課題
思考・判断・表現	自動車に関する思考を深め、自動車に関する問題点や疑問を提示し、考察する能力を身に付けている。	35%	考查 課題 授業中の発言・行動
主体的に学習に取り組む態度	今日の、人と自動車との関わりについて興味や関心をもち、主体的に学習活動に取り組む前向きな態度を身に付けている。	30%	ノート・課題 授業中の発言・行動 小テスト(確認プリント)

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	1 人と自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車に関心をもち、理論的な思考を深めている。 ・技術者として自動車の技術について考えを深めようとしている。 ・自動車に関する知識に関心をもち、理論的な思考を深めている。
	2 自動車の原理	
(1) 自動車の概要と力学 (2) 自動車用機関の働きと動力伝達に関する装置 (3) 自動車の操作と制動		
2	3 自動車用エンジン	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の根幹であるガソリンエンジンについて関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 ・ガソリンエンジンの周辺装置に関する基礎的な知識を習得する意義を理解している。
	(1) ガソリンエンジンの構成	
	(2) 燃料装置	
	(3) 吸気装置	
	(4) イグナイタ	

3	4 動力伝達装置 5 懸架装置・走行装置・ステアリング装置	<ul style="list-style-type: none">・クラッチ、トランスミッション、プロペラシャフトの役目や機構を熟知し理解を深めようとしている。・懸架装置の種類と構造について理解している。・懸架装置の代表的な部品であるショックアブソーバについて理解を深めている。
---	----------------------------------	--